

## 歴博 暮らしの植物苑だより

暮らしの植物苑観察会 暮らしの植物苑東屋集合  
第99回 6月23日(土) 13:30~15:30

「シーボルトと暮らしの植物苑」 辻 誠一郎 (東京大学大学院)  
第100回 観察会100回記念 7月28日(土) 13:30~15:30

「市民のための暮らしの植物苑」 辻 誠一郎 (東京大学大学院)  
観察会当日は10:00から季節の花・野菜の苗の有償頒布があります。

### 伊勢ナデシコ展示中



伊勢ナデシコは花卉が垂下がるのが特徴です。  
花の肩がはっていたり、横の走ったように広がったり  
いろいろの花型を見せてくれます。  
色も淡い桃色から紫に近い色までいろいろあります。  
苑内には河原ナデシコも咲いています。比べて下さい。

ムラサキシキブ (クマツヅラ科ムラサキシキブ属)  
山地に生える果実が美しい落葉低木。果実は球形  
で秋に紫色に熟します。鳥が食べることによってよく  
広がります。材は硬く、あまり太くならないが利用  
される。



ベニバナ (キク科ベニバナ属)  
南西アジア原産の2年草。薬用・染料・油などに、  
また鑑賞にも栽培されている。花は筒状花だけから  
なり、葉はアザミに似て刺があり、紅花摘みは朝露  
のあるうちにつまないと刺をさしてしまいます。花  
だけを乾燥させたり、紅餅にして流通します。



ナギ (マキ科ナギ属)

雌雄異株の高木で、古くから熊野信仰と結びついて神社などに植えられています。暖地では庭木や並木として植えられ、樹皮のタンニンが皮のなめし剤や染料に、種子から取れる油は神社の灯用に使われました。



雄花



雌花

オオバギボウシ (ユリ科ギボウシ属)

東アジア特産属で日本に種類が多く、生育場所は多様で、種による特徴があります。本種は草原、林縁など普通の土壌に広く生えます。山菜として関東ではウリッパやウルイ、越後ではアマナの地方名があります。



バショウ (バショウ科バショウ属)

大型の多年草で、葉鞘が巻き重なって茎のように見える偽茎が直立します。花茎の基部には2列の雌花が並んだ花房をつけます。本種は最も耐寒性のある種で庭園によく植えられています。去年は天候不順で春と秋に2回花茎を付けました。

